



ドイツ人建築家ブルーノ・タウトの 少林山達磨寺の足跡

世界遺産に登録されているドイツの集合住宅を建築したブルーノ・タウトは、第二次世界大戦前、ナチスドイツを逃れ日本に渡来し少林山達磨寺に約2年半にわたり逗留した。

著名なドイツの建築家が達磨寺に滞在したという高崎市の歴史の一端を少林山達磨寺の住職廣瀬氏に楽しくお話していただく。

【講師紹介】

廣瀬 正史 氏 (少林山達磨寺 住職)

【日時】 令和7年2月17日 (月)

16:00~18:00

申込フォーム

【場所】 高崎経済大学図書館ホール

(高崎市上並榎町1300番地 高崎経済大学図書館1階)



【受講料】 無料

【定員】 50名 (先着順)

【申込み】 申込フォーム (QRコード参照)、

Eメール、はがき、FAXで、氏名 (ふりがな) ・郵便番号・住所・電話番号・E-mailアドレス (任意) を明記して事務局まで

締切：2月13日 (木)

【問合せ】 高崎経済大学 地域科学研究所 事務局

(研究グループ研究支援チーム)

〒370-0801 高崎市上並榎町1300番地

TEL : 027-344-6267 FAX : 027-343-7103

E-mail : chiikikagaku@tcue.ac.jp